

第1編 序論

池田町 第五次総合計画

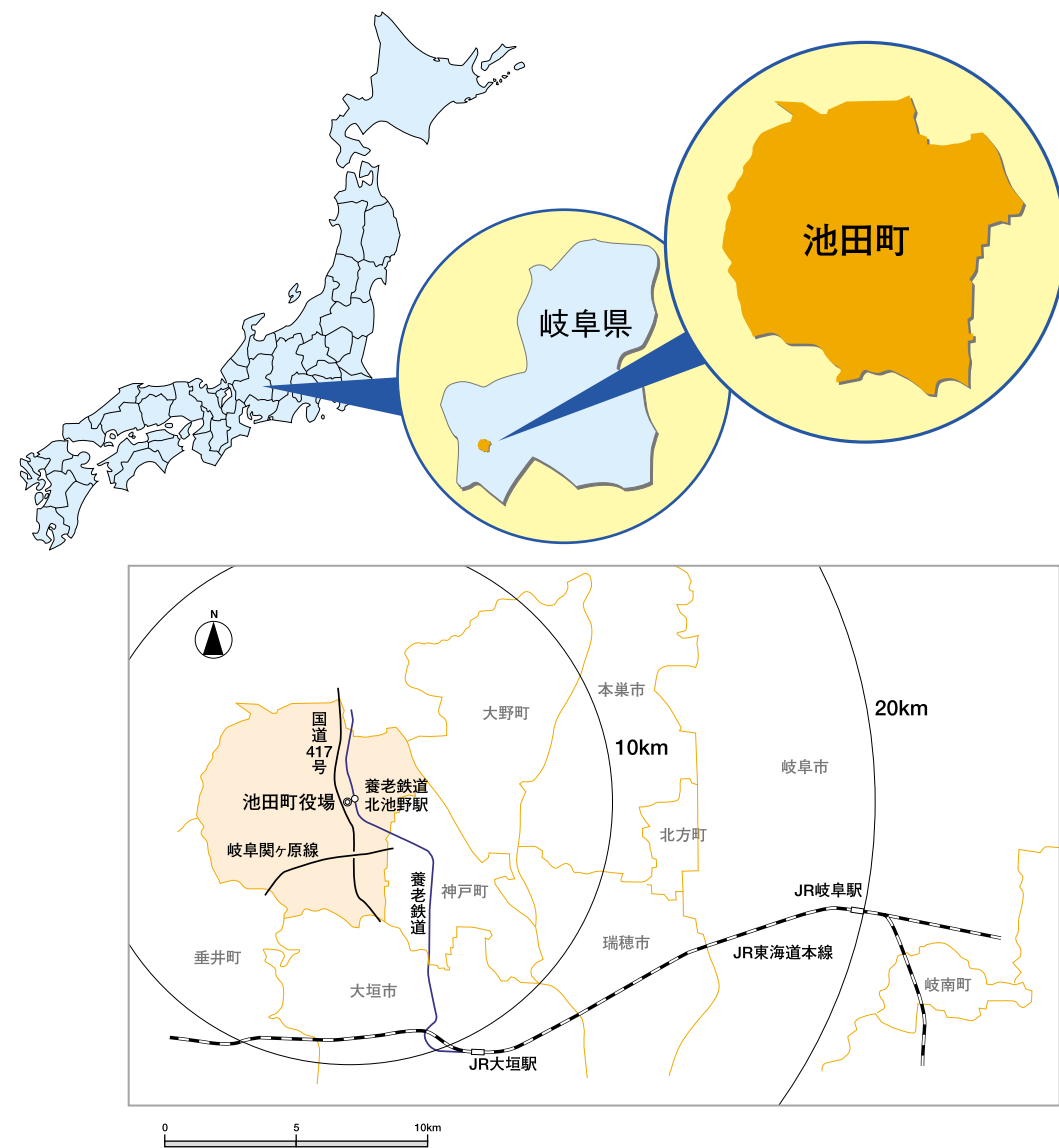


第1章 池田町の概要

第1節 地理的条件

池田町は、木曾三川によって形成された広大な濃尾平野の北西部に位置し、西に924メートルの秀麗な池田山を背負い、平野部を一級河川の揖斐川、杭瀬川、東川、深町川、中川、粕川 の六つの川が流れる自然環境豊かな町で、東は神戸町、南は大垣市、西は垂井町、北は揖斐川町などに隣接しています。

町民の大切な足となっている養老鉄道も走り、名古屋へは鉄道で1時間の位置にあります。大垣市に12キロ、岐阜市へ20キロ、町の中央は国道417号が南北に縦走し、南部には、主要地方道岐阜関ヶ原線があり、梅谷片山トンネルの開通を機に東西交通の要衝となり、更に、将来、東海環状自動車道の開通により人、物の流れの重要な位置となっていくことが予想されます。



第2節 町の沿革

1950年（昭和25年）に池田村が北平野村大字白鳥を編入、1954年（昭和29年）に町制が施行され、温知村が池田町になりました。1955年（昭和30年）には、旧池田町、八幡村、宮地村が合併して新池田町が成立し、翌年の1956年（昭和31年）に、南市橋が赤坂町へ分離し、養基村の一部（田中、粕ヶ原、沓井）が池田町に編入されました。平成の合併協議において池田町は、2002年12月に揖斐郡8町村による、揖斐町村合併協議会を設置しましたが、翌年7月に離脱しました。2003年2月には、大垣市、垂井町、養老町などとの大型中核市^{※1}合併を話し合う西濃圏域合併協議会に参加しました。2004年12月に西濃圏域合併協議会から離脱し、2005年1月23日、合併に関する住民意向調査投票を実施した結果、単独存続の意向が多数を占めました。これらの町民の意向を尊重し、単独町政を進め、現在に至っています。

第3節 町を取り巻く状況

社会情勢の変化により、町民の生活に影響する重要な課題が多様化、複雑化してきました。その一方で、景気の状態等により、地方財政は極めて厳しい状況にあります。国においても、政権交代等、仕組みが大きく変わることが予測されますが、どのような状況にあっても、持続可能な地域社会のシステムを構築することを考えるべき時代を迎えています。

池田町は、2005年に合併に関する住民意向調査投票を行い、単独存続が多数を占める結果となりました。この意向を受け、現在、池田町は、合併をしない町政運営に取り組んでいます。深刻な少子高齢化、産業構造・社会経済情勢の大きな変動、地方分権の推進、厳しい財政状況など、さまざまな状況を取り巻く環境において、活力の創造と観光交流産業の推進を図る必要性が高まってきています。そのため、関係市町が連携し、東海環状自動車道西回りの早期完成に努め、大野神戸インターチェンジ、大垣西インターチェンジに結節し、都市間交流の可能性に対応し、交通体系の確立や都市基盤の整備を計画し、活気ある地域産業の創造をめざしていく必要があります。

少子高齢化は、経済的な課題や次世代の負担の増加など、大きな影響を与えることが予測されています。国と地方との関係における権限と財源の比率も変化が見込まれます。今後ますます厳しさを増すことが予測される池田町の財政においては、新たな財源の確保を模索することはもとより、町民にとって重要な課題、緊急・必要性の高い事業に重点的な配分を行い、限られた財源をより効果的に活用することが求められています。

※1 中核市とは、人口30万人以上の要件を満たす政令指定都市以外の規模や能力などが比較的大きな都市。事務権限を強化し、できる限り住民の身近なところで行政を行なうことができるようにするために平成6年に法制化された。

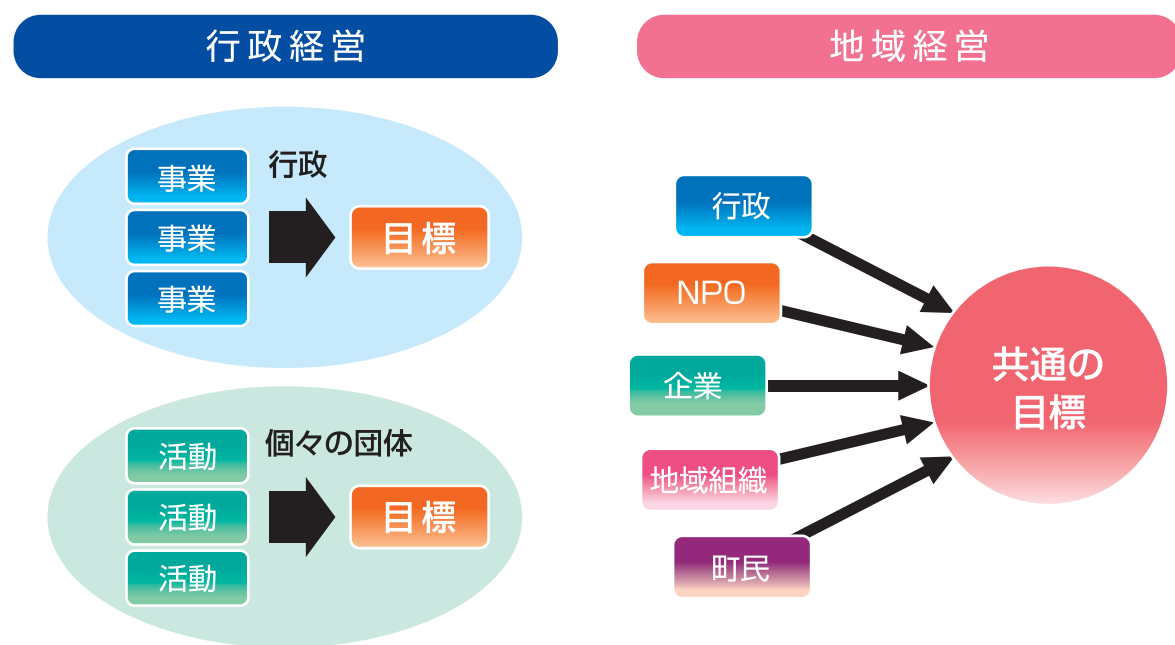
第2章 池田町第五次総合計画策定の趣旨

町政運営のあり方において、池田町自らの責任と判断により、町民ニーズに主体的に対応し、町民と一緒にまちづくりを進めていくことが求められています。これらの変化を見据え、第五次総合計画の策定と推進にあたっては、第四次総合計画までには、見られなかった次の特徴があります。

第1節 多様な主体が共有できる目標設定 ～行政経営から地域経営へ～

町民のニーズを起点に池田町の目標を設定する方法^{※1}を取り入れました。具体的には、町民の生活実感を、グループインタビュー^{※2}とアンケートにより把握し、平均的な町民ニーズとして明確にし、めざすまちの姿（生活課題）を設定し、さらに、町長の責任において必要と判断した課題をめざすまちの姿（行政課題）として追加しました^{※3}。

これらの過程を経て、第五次総合計画に掲げられる目標（「生活課題」「行政課題」）は、行政だけではなく、多様な主体の間で共有できる成果目標となりました。多様な主体が協力してまちづくりを進めるというメッセージを含め、役割期待値も設定しました。今後、成果目標の実現に向けて、行政単体の経営から、地域の持続可能性を見据えた「地域経営」へと展開^{※4}していきます。



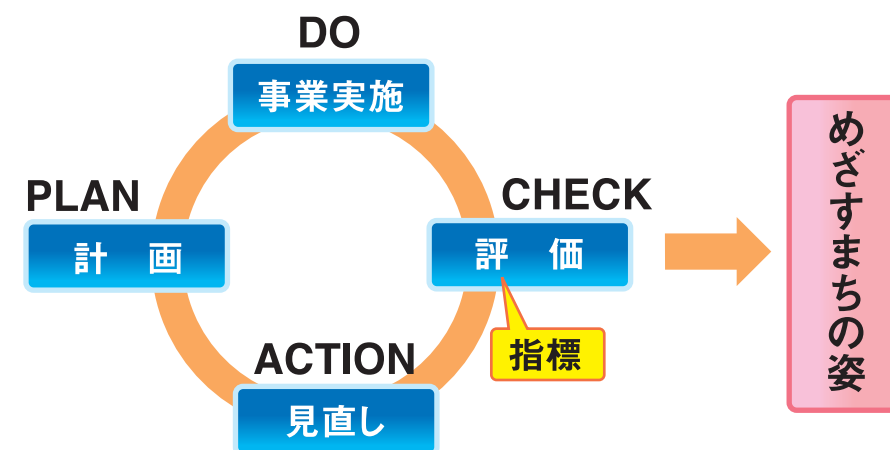
第2節 目標実現の進み具合を点検するためのものさしの設定

成果目標がどの程度実現できているかを評価していくために「まちづくり指標」と呼ばれるものさし（指標）を定めました。定期的に数値結果を確認していくことにより、目標に対して、状況が悪化しているのか改善しているのかを知ることができます。行政だけではなく、多様な主体が「生活課題」「行政課題」に対して、改善進捗や達成状況を評価していくために使うことができます。

第3節 町と町民が共に計画・実行・点検・改善をしていく循環のしくみ

第五次総合計画は、改善されていない目標について、行政と町民が意見を出し合いながら「計画－実行－点検－見直し」の過程を経ながら、一層の改良と向上を図り、次の計画段階へと反映させる仕組み^{※1}を確立することができます。

策定から運用そして評価にいたるまで、行政と町民との協働を取り入れた試みであり、策定後は、目標に対してどのような事業が有効であるかを考えられるように、ゆるやかな町民参加を進めていきます。



※1 池田町というまちをひとつの「市場（しじょう）」に見立て、政策を商品として考えてみるという発想の転換に基づいた取り組みで、一般的に政策マーケティング手法と呼ばれている。詳しくは、資料編を参照。
 ※2 少人数グループの対象者に対し、司会者が進行し、座談会形式で自由に意見交換をしてもらい、その発言から対象者の意向や心理を捉える定性調査。
 ※3 第五次総合計画の中心軸となる成果目標とし、住民ニーズにて設定された生活課題と町長判断にて設定された行政課題を、めざすまちの姿と総称。
 ※4 行政経営とは、行政を企業経営と同じような一つの経営体として捉える考え方であり、行政をまちづくりの主体と一元的に捉える。一方、行政もまちづくりの一翼を担う経営体の一つに過ぎないと多角的に位置づける考え方が、地域経営である。前者は、行政内部のしくみに力を注ぐのに対し、後者は行政を中心としながらも他の活動主体（企業、学校、地域団体、NPO等）の参加や役割分担も視野に入れ、地域全体の満足水準を高めることをめざす。

※1 市民・議会・行政などが対等の立場で協力・補完し合う中で、「Plan(計画)－Do(実行)－Check(点検)－Action(見直し)」のサイクルで点検・見直しを図り次の計画に反映させるサイクルのことを指し、池田町では「協働型マネジメントサイクル」と呼ぶ。

第4節 職員全員体制によってできた計画

これからは、町民だけではなく、池田町職員全員が、成果志向の意識を持ち、町民に向き合う姿勢を持つことが必要です。そのために、第五次総合計画の策定では、特徴立った策定の経緯について理解を深めるとともに、38個のめざすまちの姿（28個の生活課題と10個の行政課題）に対し、有効な施策体系を主体的に検討しました。

このような過程を経るなかで、職員一人ひとりの意識改革が促されていますが、今後、一層、事業を重視した従来の管理型の評価スタイルから、目標に対する事業の有効性を問う視点を主軸とした、行政経営が可能な評価システムへの転換を図っていきます。

第5節 地域でできることは地域で

身近な地域の課題に対し、町民が自発的な判断や行動によって地域で解決できることは地域で取り組むというまちづくりの考え方があります。町民で解決することが難しいことは、町が解決し、町で困難な課題は県が、県では困難な課題は国が、といった形で、中心に主権者である町民が存在しつつ、それを補完していくという考え方を補完性の原則といいます。

これらの考え方を第五次総合計画では基礎にし、「めざすまちの姿」（「生活課題」「行政課題」）を実現するために「町民や各種団体などができること」を町民の視線から考え、示しています。

第3章 計画の構成と目標年次

第1節 総合計画の構成

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。

基本構想（平成22年度～31年度）

めざす将来像を示すとともに、町民ニーズに基づいたまちづくりの目標とめざすまちの姿を明らかにします。

基本計画（平成22年度～31年度）

池田町のめざすまちの姿を実現するための施策を6つの理念に沿って、明らかにします。

実施計画

各年度に実施する具体的な事業を、社会情勢や財政状況を考慮して選択し、取りまとめた短期計画で、予算編成の指針となります。

第2節 計画の期間

基本構想および基本計画の期間は、平成22年度から31年度までの10年間とします。ただし、基本計画は平成27年度に必要な見直しを行います。

